

## は じ め に

東京医療保健大学は平成17年度に開学し、医療及び保健の現場に役立つ専門職教育を第一の理念とし、横断性と専門性とを調和したケア、医学的栄養科学教育、デジタル化時代に対応できる情報教育、リスクマネジメント及び感染制御に関する教育、治療達成度評価に必要な統計学的及び免疫学的教育などに力を入れ、国際交流やコミュニケーションに必要な英語教育などの充実を図っております。

本学のこのような教育への真摯な取り組みを含め、開学以降の教育研究等に係る取り組みを明らかにするため完成年度を迎えた平成20年度に開学後初の自己点検・評価を実施いたしました。自己点検・評価の項目は、今後、認証評価を受審する予定の財団法人大学基準協会が定める主要な15の自己点検・評価項目に基づいて行っております。

このたびの自己点検・評価を行うことによって、大学創設の原点に立ち返り、本学の建学の精神及び教育理念に基づき、医療分野において特色ある教育研究を実践することで時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して新しい視点から総合的に探求し解決することのできる人材の育成を目指すとともに、本学の一層の充実・発展を図ることといたします。

本学においては、今後も継続的に自己点検・評価を行い、その結果を公表することにより学校法人として社会への説明責任を果たすとともに、学生にとって魅力ある大学となるよう努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

東京医療保健大学長 小林寛伊